

ピワ灰斑病のベンズイミダゾール系薬剤耐性菌に対する有効薬剤						
[要約] <u>ピワ灰斑病のベンズイミダゾール系薬剤耐性菌</u> に対して、 <u>フルアジナム水和剤</u> は有効である。						
長崎県果樹試験場・病害虫科	専門	作物病害	対象	果樹類	分類	指導
部会名	平成11、12年度 長崎県果樹試験場業務報告					

[背景・ねらい]

露地ピワ産地における果実腐敗の主原因である灰斑病菌について、現行の主防除薬剤であるベンズイミダゾール系薬剤に対する耐性菌の発生が問題となっている。そこで、その耐性菌に有効な防除薬剤を検討する。

[成果の内容・特徴]

- ①長崎市の現地圃場から採集したピワ灰斑病菌のベノミル耐性菌株（1999年9圃場17菌株、2000年8圃場17菌株）に対して、フルアジナム剤は、100ppmで、すべての菌株の菌糸伸長を抑える（表1、表2）。

[成果の活用面・留意点]

- ①ピワ灰斑病菌による果実腐敗の防除対策に活用する。

[具体的データ]

表1 ベノミル耐性菌株に対するフルアジナム剤の菌糸伸長抑制効果 (1999年)

フルアジナム剤の濃度 (ppm)	<10	10	100	合計
菌糸伸長菌株数	11	6	0	17

表2 ベノミル耐性菌株に対するフルアジナム剤の菌糸伸長抑制効果 (2000年)

フルアジナム剤の濃度 (ppm)	<1	1	10	100	1000	合計
菌糸伸長菌株数	0	2	15	0	0	17

[その他]

研究課題名：果実腐敗の発生要因の解明と効率的防除法の確立

予算区分：県単

研究期間：平成12年度（平11～15年）

研究担当者：小嶺正敬、大久保宣雄